

八色西瓜通信 No.2



～ほ場準備と定植～

令和6年4月23日
八色西瓜生産組合指導部
JAみなみ魚沼園芸畜産課
南魚沼農業普及指導センター

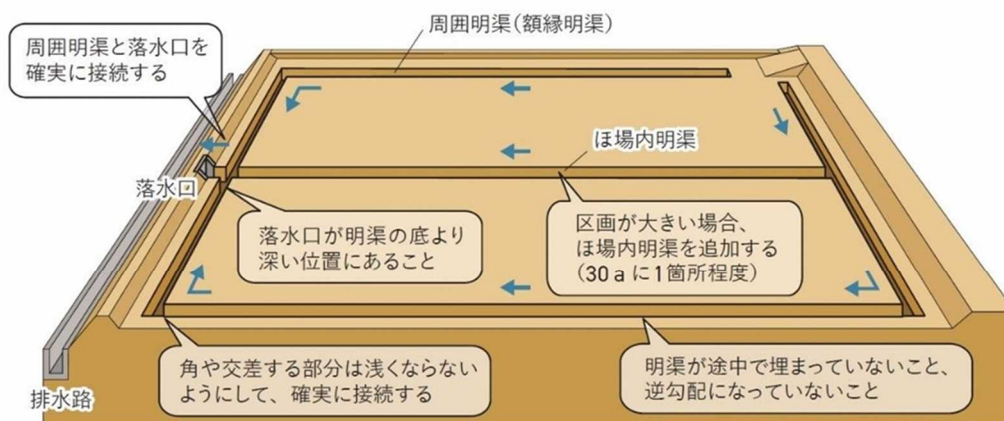
【生育状況等】

- 定植の第1段は、早い人は4月17日頃から始まり、本格的な開始は20～21日となっています。
- 天気が不安定で、寒暖差が大きい状況です。
→天気予報をこまめに確認し、温暖な日に定植しましょう。
- 雑草がひどい場合は、定植前に中耕や除草剤散布しましょう。
また、ほ場の排水溝を点検し手直ししましょう。
- つる引き・改良整枝栽培は、地温を十分確保してから定植しましょう。
→トンネルは定植3日前には設置しましょう。
地温 16℃以上（地下 15 cm）を確保しましょう。



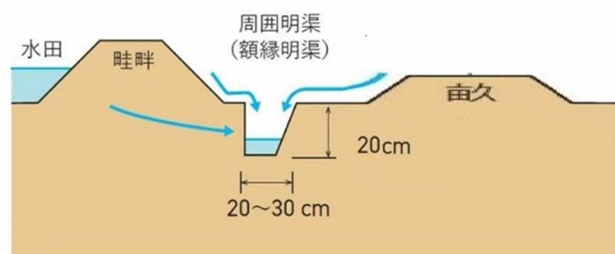
集中豪雨に備え、あらかじめ排水路の整備を

- ・集中豪雨等で水がたまらないよう、排水路を必ず設置し、すばやく表面排水されるようにしましょう。
- ・水田転換畑の場合は、手を抜かずに!!
→瞬間的でも畝上部まで雨水が上がると、炭疽病等がまん延するリスクがあります。



明渠と落水口の接続

明渠から排水口までの水の流れをすべて繋げることが重要です。



〔 水田転換畑での排水路設置方法 〕



雑草対策

- ・雪解けが早く、マルチ内の雑草が繁り始めています。
マルチに開いた穴をふさいで気温を上げ、雑草を蒸し焼きにしましょう。
- ・畝間は耕うんしたり除草剤散布しましょう。

春マルチほ場はできるだけ乾いた状態で耕うんし 細かく砕土！

- ・ゴロ土は乾きやすい。砕土率が大事→



強風でトンネルが飛ばされないように、資材の 設置をしましょう

- ・支柱の刺し具合、マイカー線の張り方、
トンネル押さえの土量を確認しましょう



秋マルチ内が乾燥している場合、定植3日前まで にたっぷりかん水しましょう

- ・早めにかん水しておき、マルチ内水分を確保
→ 熱伝導が良くなり、地温上昇が早まります

定植後の株元かん水の効果

- ・定植後の株元かん水は、ポットとほ場の土の隙間をなくし、活着しやすくする効果があります。
- ・トンネル内の温度上昇が大きい時期は、葉ヤケ防止にも効果的です。
- ・一方でかん水直後は地温を下げるので、4月定植の場合は水温に注意が必要です。
タンクに汲みおき水温を上げるなど工夫しましょう。

【お知らせ】

西瓜オンラインシステムの登録について

西瓜オンラインシステムへの登録を希望される方は下記メールアドレスまで
件名を「西瓜オンラインシステム」

本文に「自分の名前」を記入の上メールを送信してください。

メールを確認次第、確認メールを送信いたします。

登録完了後に改めてご連絡いたします。

メールアドレス：

entik-4@ja-m-uonuma.or.jp

不明な点・指導が必要なときは下記担当まで連絡ください。

みなみ魚沼農業協同組合 園芸畜産課 関 TEL:777-3180

南魚沼農業普及指導センター 近藤 TEL:772-3337